

3月22日、オンラインで防災対策部会が主催するWEB研修が開催されました。  
東日本大震災が起きた当時、宮城県南三陸町の地域包括支援センターで保健師として働いておられた高橋晶子さんから「これだけは伝えたい7つの備え」を教えてくださいました。以下に要点をまとめました。ぜひ、参考にしてください。

# 「災害に備える」7つの提言

制作：関西大学社会安全学部 岡本優奈（近藤研究室）

## 1. 事業継続計画（BCP）を策定しよう

- ☞ 想定外を減らして被害を小さくするために、必要な情報を集めてBCPを策定する。
- ☞ 実際に訓練してBCPの有効性を確かめる。計画の内容は、事業所の内外で共有する。
- ☞ 市の「地域防災計画」などを読んで、自治体との連携策を日頃から確認しておく。

## 2. 臨機応変に対応できる人材を育成しよう

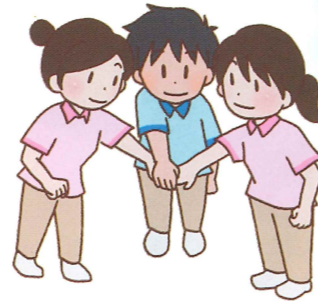
- ☞ 様々な条件下で訓練を行い、柔軟な判断や対応がとれるように鍛錬する。

## 3. 備蓄品を確保しよう

- ☞ 被災しても紛失・流失しない保管場所を確保する。
- ☞ 備蓄するにしても限りがあるので、他機関と応援協定を結んでおく。

## 4. 地域のネットワークを構築しよう＝“地域の力は無限大”

- ☞ 地域の人が集まるイベントを開催・参加するなどして、職員・市民・行政が一体となるコミュニティづくりをする。



## 5. 受援（支援の受け入れ）体制をあらかじめ想定しておこう

- ☞ 何でもかんでも受け入れてしまうと、かえって現場は混乱する！

## 6. 日頃から利用者さんとしっかり向き合おう

- ☞ 非常時を見通したケアプランを作成する。
- ☞ 優先順位を見失わないこと。災害関連死を防ぐ！



WEB研修の講義は  
YouTubeでご覧いただけます

## 7. まずは自分の命を守る！

- ☞ 自分の命を守ることで始めて、別の命を守ることができる。
- ☞ 「私は職員だから〇〇をしなければならない」ではなく、「人として何をすべきか」、それを第一に考えること！

# 空木

UTSUGI  
TAKATSUKI

△お問い合わせは

## 072-661-9108

高槻市介護保険事業者協議会事務局まで

社会福祉法人高槻市社会福祉事業団内

### 編集後記

時の流れは速いもので、コロナ禍の中バタバタと日常的に起こる対応に追われて夏を感じる時期になってまいりました。

こちらの編集後記を書かせていただいているのは五月下旬ですが、ちょうど1年前先天性の要因による脳出血で救急搬送から長期入院するということがありました。介護の現場で脳卒中後の利用者様はたくさん見てまいりましたが、我がこととして体験すると、介護事業に携わる者として、また物の見え方が変わったように感じています。今回の病気の体験を冬号でお伝えできればと思います。 坂本



高槻市介護保険事業者協議会  
ホームページにアクセスしてみてください！！

協議会に入ったけど、具体的にどんな活動をしているのかわからない…、部会など参加してみたいけど、どんなものがあるのか知りたいという方は、QRコードからHPにアクセスしてみてください。

怖いのは新型コロナウイルスだけじゃない！

## 手洗い・うがいは忘れずに！！

高槻市介護保険事業者協議会

制作・発行 情報活動誌空木発行委員会 2022.7



今回からはじまりました、高校生とのコラボ企画!!  
 福祉に関することや、今感じる思いなど、高校生ならではの視点で記事を書いてもらいます。  
 高校生と介護・福祉が繋がることでお互いの今を分かち合いたい企画です(^-^)

# 高校生 + alpha

第19回「高校生が作るふれあい冬まつり」を企画して

三島高校 3年 芝 拓道

「ふれあい冬まつり」というイベントについて私が知ったのは、高校二年生になってからでした。

障がいを持つ方々と高校生が接する機会を作る場所。そんな話を聞いて、私は実行委員会の会議に出席しました。私は中学生の頃に、部活動でよく地域のボランティアや福祉施設のお手伝いに参加していたので、そういう場が大変興味があったからです。

実行委員会では、違う高校に通う生徒同士で「ふれあい冬まつり」をより魅力的なものにするために、たくさんの意見を出し合い、企画会議の終了予定時刻を過ぎてしまったこともありました。テーマを「輝く星々のつながり」と定め、星座のように人々がつながって、光り輝けるようなイベントを作ろう、と実行委員会のメンバーたちが意気込んだのも束の間、コロナウィルスのオミクロン株の流行で、例年通りのようなイベントを開催するのは断念せざるを得なくなりました。しかし、どうにかして形にしたいと皆で話し合い、各学校の出し物を撮影し、作成したDVDを障がい者団体の方々に配布するという形でつながることができました。DVDを通してたくさんの元気や笑顔をお届けできたと思います。

今回の「ふれあい冬まつり」は本当にたくさんの方々の尽力があって、このような形ででも開催できたことは素晴らしく、誇らしいと思います。私は、この「ふれあい冬まつり」に参加できたことが心からうれしいです。来年は節目の第20回、どんな形の「ふれあい冬まつり」になるのかを楽しみにしています。

## 高校生が作る ふれあい冬まつり



※「高校生がつくるふれあい冬祭り」は高槻市内の府立学校（高槻支援・芥川・阿武野・大冠・高槻北・三島など）、障がい者団体、高槻市障がい者福祉センター（ゆーあいセンター）などが高槻市などの後援を受けて実施する企画で、毎年1月第2土曜にゆーあいセンターで行っています。舞台発表、展示、模擬店などたくさんの高校生や障害者グループの企画があります。、同日に行われている「ふれあい祭り」と合わせ、1000人規模の来客があります。

## 季刊誌「空木」編集委員大募集!!

一緒に紙面を作りませんか?想像以上に楽しいですよ(\*^^\*)

### 情報活動誌空木発行委員会の メンバー紹介

個性豊かな「チーム空木」のまとめ役??鈴木です!企画も取材も交流も楽しみつつ、皆様に少しプラスになる情報&笑顔をお届けしていきたいと思ひます。

鈴木 みどり



空木での担当(記者・構想?)  
 写真撮影担当(のつもり)坂本です!以前に写真スタジオアシスタントをしていました。その経験を現場でも活かし、空木の活動でも役に立てられる事を嬉しく思っています。

介護は今までの経験をすべて役に立たせる素敵なお仕事だなあと感じています。  
 少しでも興味あれば、編集チームに参加してみてください!

坂本 鉄併



空木での担当(記者・構想?)  
 今は紙面のデザインもさせて頂いていますが、基本的にはアイデア出し担当かなと思ひます。こんなことしたいな、あんなことしたいなはモリモリ浮かぶ脳みそです。

空木を通して、たくさんの方が繋がればいいなと思ひています。

小林 里佳



空木での担当(記者)  
 去年の11月から、浦堂に駄菓子屋&学び舎をはじめ、ひなたぼっこの中村亜希子です♡  
 空木も駄菓子屋も地域をつなぐ大切なものだと思ひています♡  
 高槻市を温めていきます♡

中村 亜希子



元々は、デザイン構成担当をしていましたが、今は諸事情により幽霊部員と化しています。  
 初期のデザインは、紙面のイメージを印象付けること、できる限り皆様に読みやすいようにすることを念頭に色々試行錯誤しながら構成していたの今はいい思い出です。

いずれ、本格的に空木にもカムバックできたらと思ひています!

渡木 潤一



### 秋号・介護川柳募集!!(8月末締切)

5・7・5で、くすっと笑える、ほっこりする作品をどしどしご応募ください。

【応募先】メール:jigyo@takatsukishi.com FAX:072-672-7569